**６　令第１６条の５（汚水の排出の届出）**

〔届出書〕規則別記様式第８の３

|  |
| --- |
| 汚水排出届出書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役　○○○○　　・・③河川法施行令第１６条の５の規定により、次のとおり届け出ます。１　汚水を排出しようとする河川の種類及び名称一級河川○○川水系○○川２　汚水を排出しようとする場所‥④ ○岸　○○k○○付近○○県○○郡○○町大字○○○○番地先（○○川○岸）３　汚水の排出の方法及び期間・・⑤・○○工場よりポンプ排水により直接川に放流する。・期間は令和○年○月○日～令和○年○月○日まで４　排出しようとする汚水の量・・⑥１日当たり　８００立法メートル／Ｄ時間当たり　１００立法メートル／ｈ５　排出しようとする汚水の水質‥⑦ |
|  | 水質項目 | 平均値 | 最大値 | 備　考 |  |
| 　ＰＨ　ＣＯＤ　ＢＯＤ　ＳＳ |  ○．○  ○mg/l  ○mg/l  ○mg/l |  ○．○  ○mg/l  ○mg/l  ○mg/l |  |
|  |
| ６　排出しようとする汚水の処理の方法・・⑧活性汚泥法により処理を行い、排水の水質が水質汚濁防止法及び都道府県知事が定めている条例等に適合する水質により処理して放流する。 |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　届出人が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　公共団体又は法人である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載してください。

ロ　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　排出口の所在地及び河川の左右岸（河口に向かって）の別、河川の距離標を記載してください。

⑤　ポンプ排出又は自然排出の別、排出口の構造の概要並びに排出の開始及び終了の時期を記載してください。

⑥　日量及び時間量を記載してください。

⑦　化学的酸素要求量（ＣＯＤ）、生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）、水素イオン濃度（ＰＨ）、浮遊物質量（ＳＳ）、その他項目ごとに平均値及び最大値を記載してください。ただし、その他の項目については、汚水の種類に応じた必要な範囲で記載してください。

⑧　活性汚泥法、標準散水濾床法、沈殿法等の処理の方法及びこれらの方法に応じて設置する沈澱池、エアレーションタンク、中和槽、油脂分離槽等の施設の名称、数量等を記載してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　正本１部　写し１部

**【添付図書】**

**１　位置図**（１／５０，０００）

**２　汚水排出経路概要図**（汚水処理系統を含む。）

**３　処理方法の構造図**